

各分野を超えて幅広く選択できる独自の プログラム

「ビジネス」「コミュニティ・国際協力」「医療・福祉」「ヘルスケア・ライフ」をマネジメント4分野としたカリキュラム体系により、専門的な能力を養成します。分野ごとのスクーリング授業を実施。テキスト学習で得た知識を現実のテーマに置き換え、対面形式で議論することによって立体的に学べます。学生一人ひとりの関心に基づき、各分野を越えて幅広く履修できる独自の教育カリキュラムです。

【基礎科目】と【専門科目】から分野を超えて自由に選択できます。

基礎科目

経営・会計・法律など、一般教養科目を学ぶことができます。それぞれの目的に合わせて自由に科目を選択できます。

専門科目

ビジネスマネジメント 科目群

医療・福祉・環境分野における社会貢献型のビジネス動向を通じて、経済・企業における原理と構造を把握し、社会に貢献する企業組織の知識と技術を学びます。また、企業・起業に必要なマネジメントのノウハウを学びます。

コミュニティマネジメント・国際協力 科目群

国内外の地域における医療・福祉・環境・経済の問題について理解を深め、コミュニティベースのマネジメント手法を学びます。

医療・福祉マネジメント 科目群

医療・福祉における制度や組織への総合的な理解を深め、病院、施設などの組織における実践的なマネジメント手法を学びます。

ヘルスケア・ライフマネジメント 科目群

高齢者や障害者のニーズを的確に把握し、これに応えるための知識と技術を身につけることで家庭を基軸とした福祉マネジメントのノウハウを学びます。

		 テキスト科目 テキスト教材を使った在宅学習授業。 インターネットにつながったパソコンを活用して添削課題、 科目修了試験を自宅で行います。	 オンデマンド科目 (e-learning) インターネットにつながったパソコンを使って、画像や動画、 音声などで構成された授業を受講し、確認テストや 質疑応答を通じて学習します。小テストや科目修了試験 も自宅で行います。	スクーリング単位として 認定されます。	 スクーリング科目 全国各地で開催される対面式授業を受講します。科目修 了試験(レポート形式)は会場で行います。 ※地域によって開催される科目は異なります。	
基礎科目		経営学(4) 経済学(4) 簿記(2) 民法(4) 日本史(4) 生物学(2)	社 社会福祉調査論(2) 新1,2,全 学びの技法I(文書の読解と作成)(2) 学びの技法II(文書作成演習)(1)※3	必 福祉経営序論(1)※1 必 スタートアップセッション(1)※1 福祉社会入門(2) 実践英会話(2) 英語プレゼンテーション(2) インターネット演習I(2) インターネット演習II(2)	社精 医学概論(2) 社精 心理学(2) 社精 社会学(2) 社精 社会福祉学(4)	必 福祉経営序論(1)※1 フォローアップセッションI(効果的な学び)(1) フォローアップセッションII(実践的な学び)(1) 障害者スポーツ研究(2)
	科目群 ビジネス マナシメント	マーケティング(4) 財務会計(4) 管理会計(2) 労働法(4)	経営組織と戦略(4) ベンチャー経営(4) 人的資源管理(4)	医療福祉ビジネス(2)		日本企業の経営・会計(2)
	科目群 コミュニティ・ 国際協力科目群	NPO論(4) コミュニティマネジメント(4) 地域環境計画(4) 国際開発(4)	環境論(2) 災害復興のための制度と法(2) 精神医学からみたアディクション(2)	国際福祉開発(2) 福祉社会開発の支援ワーク(1) ふくしと減災コミュニティ(2) 日本の中の多文化(2)		地域再生(2) 国際開発と貧困問題(2) 地域共生社会と地域づくり(2) 地域共生社会と相談支援の仕組(2) 被災者支援と福祉防災に向けた実践演習(2) 多様なニーズに応える特別支援教育(2)
専門科目	科目群 医療・福祉マナシメント	福祉社会システム論(4) 医療政策論(4) 医療経済学(2) 医療福祉経営論(4) 医療・福祉サービス論(2) 非営利マーケティング論(4)	社 社会福祉援助技術論I(4) 社 社会福祉援助技術論II(4) 社 社会福祉援助技術論III(4) 社精 地域福祉論(4) 社精 福祉行政と福祉計画(2) 社 福祉経営論(2) 社精 社会保障論(4) 社 高齢者に対する支援と介護保険制度(4) 社精 障害者福祉論(2) 社 児童福祉論(2) 社精 公的扶助論(2) 社精 保健医療サービス(2) 社 就労支援サービス(1) 社精 権利擁護と成年後見(2) 社 更生保護(1) 認知症の医療とケア(2) ヒューマンケアのための多職種連携(2) アディクション領域における経験を有する援助者の支援論(2)	社 社会福祉政策国際比較(2) 社 社会福祉と権利擁護(2) 社 社会福祉法人のマネジメントと会計(2) 社 医療福祉システムの理論と実践(2) 社 医療福祉制度と暮らし(2) 社 ソーシャルワークと専門職(2) 社 社会保障の制度と課題(2) 社 ケアマネジメント入門(2) 社 福祉現場の人材養成(2) 社 認知症ケアと多職種連携(2) 社 認知症の人と地域包括ケア(2) 社 スクールソーシャルワークと学校現場(2) 社 地域福祉と災害ソーシャルワーク(2) 社 単身世帯と社会政策(2) 社 子どもの貧困の現状と支援(2) 社 司法と福祉の連携とソーシャルワーク(2) 社 福祉・介護のマネジメントとリーダーシップ(2) 社 アディクションと生きる社会を考える(2) 社 基礎から学ぶ発達障害の理解と支援(2) 社 多職種連携実践(IPW)と多職種連携教育(IPE)の展開(2)		
	科目群 ヘルスケア・ ライフマネジメント科目群	福祉文化論(2) 死生学(2) 生涯学習論(2) 高齢者の心理(2) 健康格差社会(2) 産業組織心理学(2) シルバーファイナンス(2) 精 精神医学(4) 精 精神保健学(4) 精 精神保健福祉相談援助の基盤(4) 精 精神保健福祉の理論と相談援助の展開I(4) 精 精神保健福祉の理論と相談援助の展開II(4) 精 精神保健福祉に関する制度とサービス(4) 精 精神障害者の生活支援システム(2)	A ファイナンシャルプランニング総論(1) A 金融資産運用設計(2) A 不動産運用設計(2) A ライフプランニングと資金計画(2) A リスク管理と保険(2) A タックスプランニング(2) A 相続・事業承継設計(2)	スポーツマネジメント(2) 福祉情報技術(2) リハビリテーション医学(2) 発達精神病理学(2) 精神障害者支援論(2) アディクションとソーシャルワーク(2) A ファイナンシャルプラン作成(1)	精神障害者と福祉実践I(2) 精神障害者と福祉実践II(2) 精神・発達障害者の理解と共働(2) 福祉とテクノロジー活用(2) ユニバーサルデザインと暮らし(2) 障害者政策と自立支援(2) 地域包括ケアシステムと未来型先端テクノロジー(2)	
フィールドスタディ科目		全144科目 ※学習形態が異なる同一科目も含みます		論文・レポート作成基礎I(2) 論文・レポート作成基礎II(2) 研究論文指導(4)		
		表中之見方 ●()内は各科目の単位数を表しています。 ●諸事情により開講科目等が変更になる場合があります。		スウェーデン研修(4)		

※1「福祉経営序論」と「スタートアップセッション」は必修科目です。「福祉経営序論」はオンデマンドかスクーリングいずれかを、「スタートアップセッション」はオンデマンドを必ず履修してください。「スタートアップセッション」はスクーリングの開講はありません。

※2テキスト教材とオンデマンド授業を併用する学習で、インターネットにつながったパソコンを活用して添削課題、科目修了試験を自宅で行います。単位の一部がスクーリング単位として認定されます。

※3「学びの技法II(文書作成演習)」は、「学びの技法I(文書の読解と作成)」を単位修得した2年次以上が履修できます。

資格科目(演習・実習科目)

社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するための科目です。実習科目は現場への配属実習が必要となります。また「テキスト学習」と「スクーリング学習」の2つの学習形態を通じて学びます。テキスト学習では課題レポート等を作成する記述式の学習方法です。科目によって講師の添削指導があります。

社 社会福祉士 演習・実習科目

相談援助演習I(2) 相談援助演習II(4) 相談援助演習III(4)
相談援助実習指導I(3) 相談援助実習指導II(3)
相談援助実習(4)〔現場実習を行います(24日間／180時間以上)〕

※実務経験による「相談援助実習指導I・II」「相談援助実習」の免除が可能です。

精 精神保健福祉士 演習・実習科目

精神保健福祉援助演習I(2) 精神保健福祉援助演習II(4)
精神保健福祉援助実習指導I(2) 精神保健福祉援助実習指導II(4)
精神保健福祉援助実習(5)〔現場実習を行います(28日間／210時間以上)〕

※実習前年度に履修者選考試験を実施します。
※実務経験による「精神保健福祉援助実習指導I・II」「精神保健福祉援助実習」の免除が可能です。

※資格科目は卒業単位には含まれません。

地域学習会

学生のグループが、地域の特色や事情を生かして共通の学修テーマのもと、主体的に開催する学習活動です。通信教育部では、地域学習会開催の案内、企画や講師に関する相談、運営費補助などの支援を行っています。所定の要件を満たす地域学修会プログラムは「スクーリング(地域フィールドワーク)」科目として単位認定を行う場合があります。

「研究論文指導」「論文・レポート作成基礎I・II」

自主的な研究を行いたい学生、論文の作成を希望している学生を対象として「研究論文指導」を開講しています。履修には指定された条件を満たす必要があります。

また、研究論文を作成するための導入科目として、研究の方法、論文の考え方や書き方などを講義する、「論文・レポート作成基礎I・II」(いずれもスクーリング科目)「社会福祉調査論」(テキスト科目)を開講しています。

「スウェーデン研修」

事前学習と現地での見学ならびに見学を深めるセミナーによってスウェーデン福祉国家を考察します。同時に、スウェーデンの生活安全保障制度を基軸として、日本の生活安全保障制度の特質とその限界性を批判的に検証します。授業料の他、研修費用がかかります。また、履修には指定された条件を満たす必要があります。詳細は、本学ホームページを参照してください。

全144科目

※学習形態が異なる同一科目も含まれます